

1月

尾久二だより

令和 5年 1月10日
荒川区立尾久第二幼稚園

「明けまして おめでとうございます」



新しい年になりました。冬休みの間、ご家族で楽しいお正月を過ごされたことと思います。子供たちも、お年玉をたくさんもらったことや家族で近くの神社にお参りに行ったことなど、お正月の出来事を嬉しそうにお話してくれます。

尾久第二幼稚園では、年末に八丁目町会の方々と一緒に行ったお餅つきで作った大きな鏡餅が飾られています。きっと元日にこの鏡餅に歳神様が宿って、たくさんの福を尾久第二幼稚園にもたらしてくれることでしょう。

さて、今日から三学期が始まり、今年度の保育もあと3か月です。これから特に「見る力」「聴く力」を丁寧に育成していきたいと思います。集団生活の中で、この「見る力」「聴く力」が弱いと次の行動に結びつきません。この二つの「力」を育てるためには、「見たり、聞いたりすることが楽しい」という体験や「自分の話を聞いてもらえてうれしかった」という経験を積み重ねることが大切です。「聴く力」には、聴いたことを頭の中でイメージして理解することが必要です。幼少期は自分の体験したことを中心に理解しますが、小学校以降は、知らないことも聴いてイメージをわかせる理解していくことが求められます。そのためには絵本や本をたくさん読むことが必要です。知らない世界にもイメージを湧かせていく体験を積み重ねることが小学校以降の学習にもつながるからです。そして、子供の話を丁寧に聴くことを心がけましょう。聴いてもらった喜びは、また話したい意欲につながります。毎日の積み重ねが大事です。この二つの大切な「力」を幼稚園と保護者の方々が両輪となって一緒に育てていきましょう。



1月の保育のねらい



うさぎ組

- 冬の支度や身の回りの始末を自分でしようとする。
- 自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりして、やり取りを楽しむ。
- 正月の伝承遊びや行事に興味を持ち、教師や友達と一緒に楽しむ。



りす組

- 冬を健康に過ごすために必要な生活習慣を自分から行おうとする。
- 寒さに負けず戸外で体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。
- 友達と思いや考えを伝えながら一緒に遊ぶ楽しさを味わう。



いるか組

- 自分なりのめあてをもち、繰り返し試したり工夫したりして、挑戦する楽しさを味わう。
- 思いや考えを言葉で伝え合い、友達と一緒に表現したり遊びを進めたりする楽しさを味わう。
- 冬の身近な自然や伝統行事に関心をもち、遊びに取り入れる。